

世界に目を向けよう～今、私たちにできること～

定期学習会の記録

2007/07/07 尾間木公民館

[参加者] 橋元 安藤 郡司 阿部 下入佐 大内 三浦 福島 金子 関川

■紙芝居・絵本から学びを深めよう

「世界がもし100人の村だったら」

「地雷ではなく花をください」

- ・サニーちゃんの話から、地雷についてさらに詳しく調べたくなった。
- ・改めて聞くと新たな発見・気づきがあり、また考えさせられることが多かった。
- ・普段自分が生活していると気づかないけれど、この絵本（紙芝居）の人たちは毎日恐怖と隣り合わせなのだと思う。
- ・日本でも不発弾があるのが怖い。
- ・都会の温泉事故も、人類のエゴへの警告の一つではないだろうか。
- ・「100人村」も「地雷ではなく」も通じること
- ・中学校でも実践したが、知っている子ども達が少ないことに驚いた。
- ・知らせること、伝えることも大切な国際協力の形。
- ・人が死ぬこととは、とぎれてしまうこと。
- ・そばにいること、心によりそうこと など

■次回までにやることの確認

- ・チラシ配布、広報活動についてなど。

■七夕を記念して、願い事を語り合う

- ・個人の願いと人類の願いについて

□次回の予定

7月21日（土）

- ・夏のイベントに向けて、国際支援について復習と発表練習。